2-023-385-**02** (1)

お客様・販売店様・特約店様用

テレビスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
液晶テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

このテレビスタンドはソニー製の下記指定機器専用です。指定機器以外にはお使いにならないでください。

指定機器：液晶デジタルテレビ（KDL-L32RX2）

壁側に寄せて設置することをおすすめします。

SU-L32RX2

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、右のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号			行為を禁止する記号
火災	感電	注意	禁止

お客様へ

火災
感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付けや設置作業は専門業者が行う

テレビおよびテレビスタンドは大変重いので、落下や転倒により打撲や骨折など大けがの原因になります。
取り付けは専門業者にご依頼ください。

注意

テレビスタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビスタンドが転倒して、けがの原因になります。

禁止

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、テレビスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。テレビと壁などをつないで転倒防止の処置を行ってください。

注意

堅くて平坦な床面に設置する

傾いた床面に設置するとテレビスタンドが転倒したり、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は、板など堅いものを敷いてください。

禁止

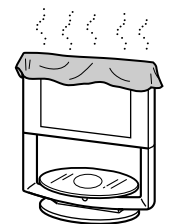
テレビスタンドにテレビを取り付けた状態で、ぶら下がらない

テレビスタンドが転倒したり、テレビが落下して、大けが、死亡などの原因となることがあります。

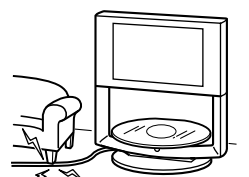
禁止

テレビの通風孔をふさがない

テレビの上に布をかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

テレビの電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

- テレビをテレビスタンドに取り付けるときは、電源コードおよび接続ケーブルをはさみこまないようにする。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビスタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルを踏まないようにする。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

禁止

踏み台にしない

倒れたり、落ちたり、ガラスが割れたりして、けがの原因となることがあります。

過熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない

ガラスが割れたりして、けがの原因となることがあります。また、テレビスタンドを傷める原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定機器以外の物を取り付けない

このテレビスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を取り付けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

テレビを固定する

テレビに付属のネジでテレビをテレビスタンドに固定してください。固定しないと、テレビスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

体重をかけたり、硬いものをぶつけない

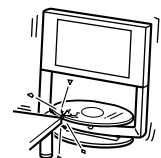
テレビを取り付けるときに、テレビスタンドに手をついて体重をかけたり、ドライバーなどの硬いものをぶつけたりしないように注意してください。
ガラスが割れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビスタンドを動かすときのご注意

無理に動かそうとすると、腰を痛めたり、足をけがしたりする原因になりますので、下記のことをお守りください。

- テレビスタンドを動かすときは、必ず2人以上で行う。
- テレビスタンドを動かすときは、手足を台座と床の間にはさまないように注意する。

ガラスに強い衝撃を与えない

テレビスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。

- 物をぶつける、先端のとがった物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラスを突いたりしない。
- 収納機器を設置するときに、ガラスの端面にぶつけない。
- 掃除機で床面をすべらせて、ガラスの端面に当てない。

設置上のご注意

設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはテレビスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。

- 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
- 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
- 高温多湿の場所や屋外に置かない

使用上のご注意

お手入れをする際には、やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5〜6倍に薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

これ以降の取り付け•設置手順は販売店様•特約店様用です。 販売店様•特約店様用

先に示した安全上のご注意をよくお読みの上、取り付けや設置、保守、点検、修理などを安全に行ってください。

設置は2人以上で行う

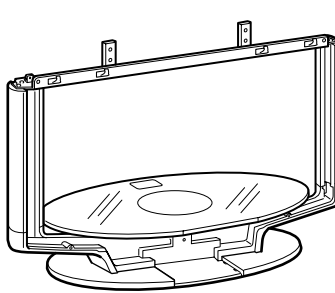
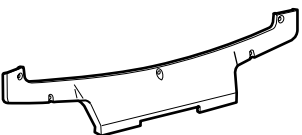
テレビをテレビスタンドに取り付けるときは、2人以上で行ってください。
1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。
また、設置するときは、子供が近づかないようにしてください。

組み立て手順に従って、しっかりと組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、テレビスタンドが傾いて転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する

テレビスタンドを組み立てるときや、テレビを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。

取り付け手順に従って、テレビをしっかりと取り付ける

ネジを確実に締めてください。
テレビがしっかり取り付けられていないと、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

手順 1：組み立てに必要な部品を確認する

組み立てる前に⊕ドライバーをご用意ください。

名　称	数 量	名　称	数 量	名　称	数 量
本体	1	ケーブルカバー（支柱用）	2	ケーブルカバー（台座用）	1
		ケーブルカバー（フレーム用）	1	バインドネジ M4 × 6 mm	5

手順 2：テレビをテレビスタンド本体に取り付ける

テレビをテーブルトップスタンドから取りはずしてから、テレビスタンド本体に取り付けます。作業は必ず2人以上で行ってください。

⚠警告

機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードや接続ケーブルを引っかけると、転んだりテレビスタンドが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビの設置場所を決め、あらかじめテレビスタンド本体を置く。

テレビは重いので、取り付ける前に場所を決め、テレビスタンド本体を置いてください。

ご注意

テレビスタンドを押したり、引いたりしないでください。スタンドの底に付いているゴム足がはがれる恐れがあります。

1 テレビをテーブルトップスタンドから取りはずす。

① テレビに付属のカバー上部の突起部分（4か所）に指をかけ、手前に引いて取りはずす。

② テレビ下部の6本のネジをはずす。

ご注意

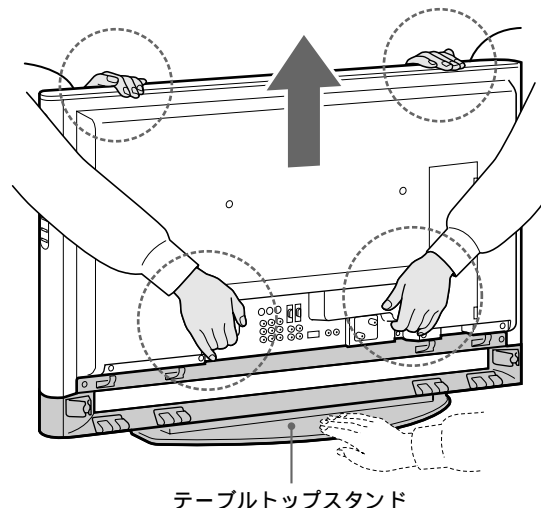
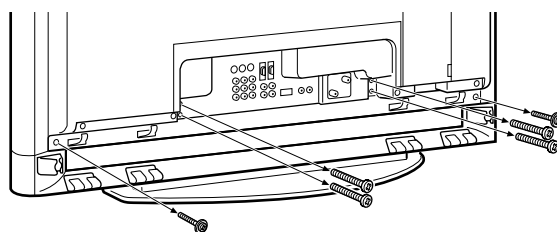
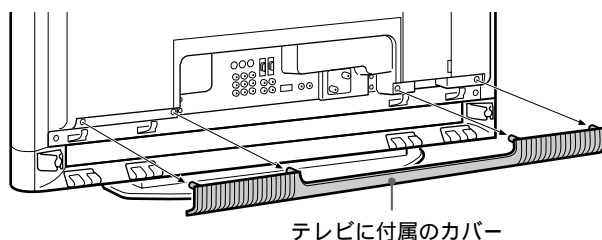
作業は、テレビを立てたままの状態で行ってください。

③ テーブルトップスタンドの台座部分を押さえ、テレビ後面のすべり止め部分を持って、テレビをはずす。

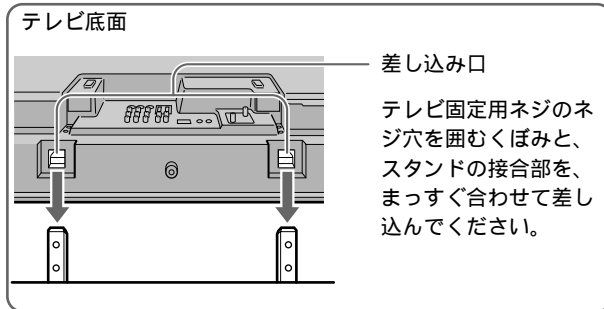
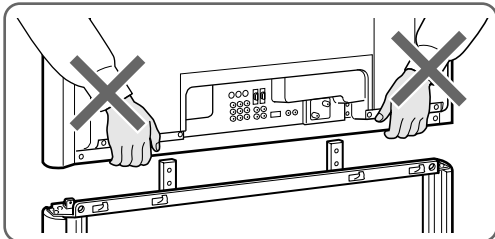
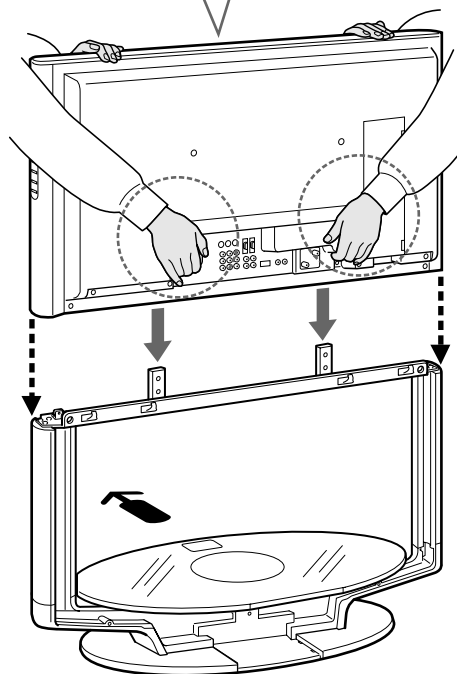
ご注意

- 作業は、必ず2人以上で行ってください。
- テレビを持ち上げるときは、必ずテレビ後面のすべり止め部分を持ってください。
- テーブルトップスタンドを押さえないでテレビを持ち上げると、テーブルトップスタンドが同時に持ち上がることがあり危険です。

テーブルトップスタンドからはずしたテレビは、床に置いたり、壁に立て掛けたりせずに、そのままテレビスタンド本体に載せてください。

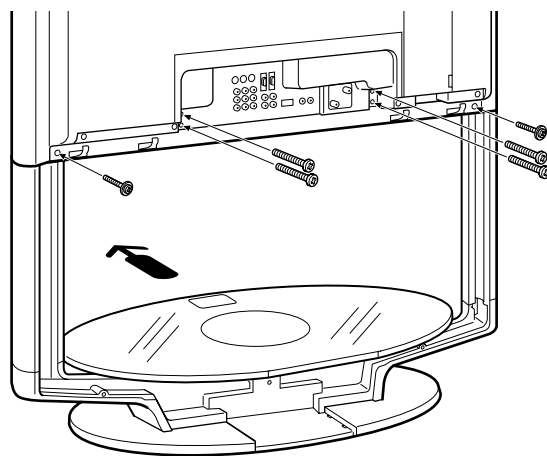
次のページにつづく

2 テレビをテレビスタンド本体に載せる。

⚠警告

テレビを載せるときは、テレビの底面を直接持たないでください。テレビとテレビスタンド本体との間に手や指をはさむことがあり、危険です。必ずテレビ後面のすべり止め部分を持って作業してください。

3 テレビとテレビスタンド本体をネジで固定する。

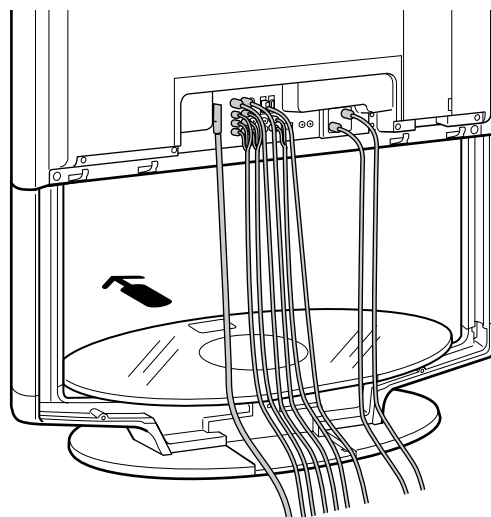
手順2-1ではずしたネジ6本を使用し、テレビを固定する。

⚠注意

電動ドライバーで締め付ける場合、締め付けトルクはおおよそ2.45 N·mに設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。
インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してけがの原因となります。

手順 3：ケーブルをテレビにつなぐ

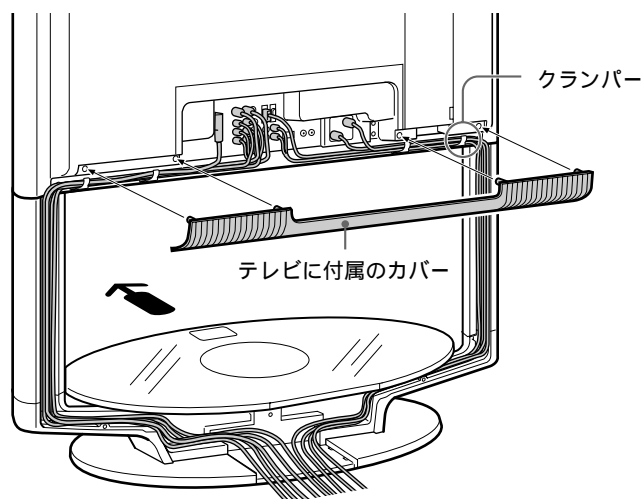
1 電源コードおよび接続ケーブルをテレビにつなぐ。

ちょっと一言

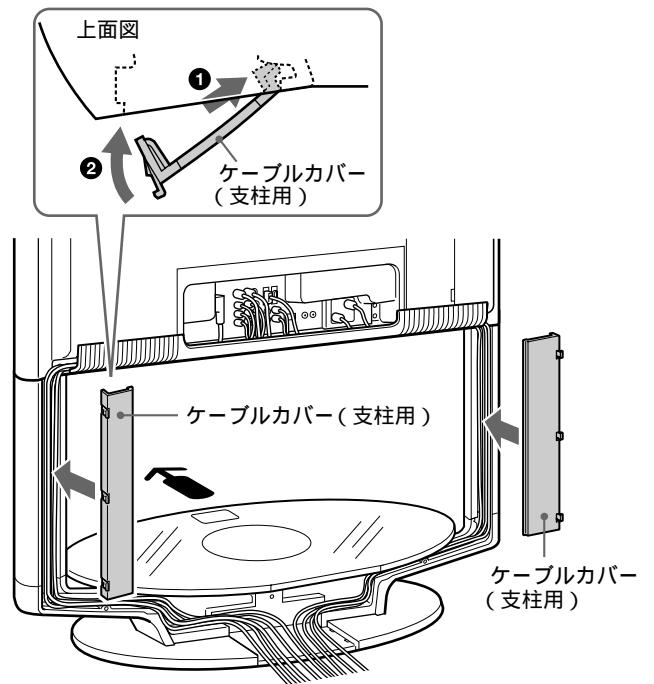
電源コードおよび接続ケーブルのつなぎかたについては、液晶デジタルテレビ（KDL-L32RX2）の取扱説明書をご覧ください。

2 ケーブルを左右に分けて、テレビスタンドの左右の柱の中に通す。

① ケーブルを左右に分けて、テレビスタンド上部のクランパーに通し、ケーブルをまとめる。

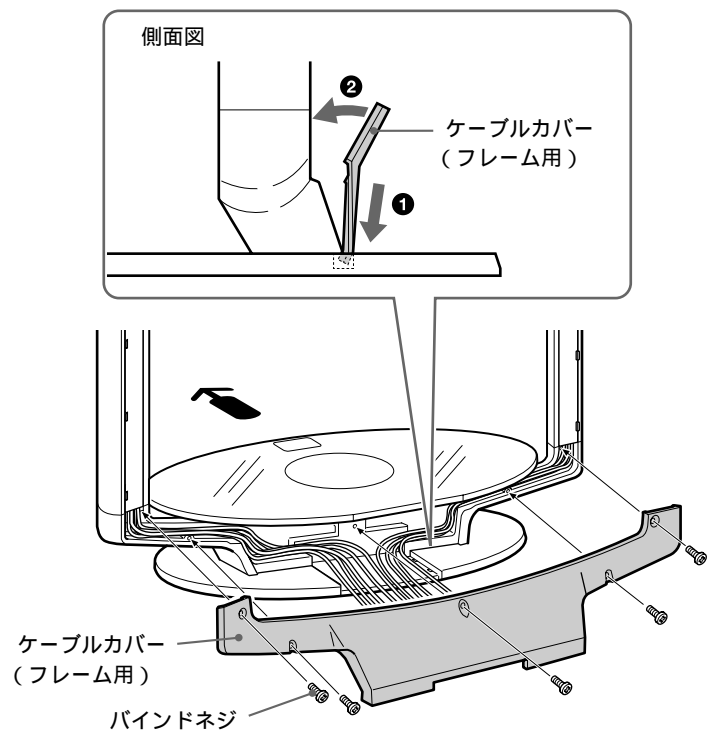
② たるみのないようにケーブルを引っ張り、テレビスタンドの左右の柱の中に通す。

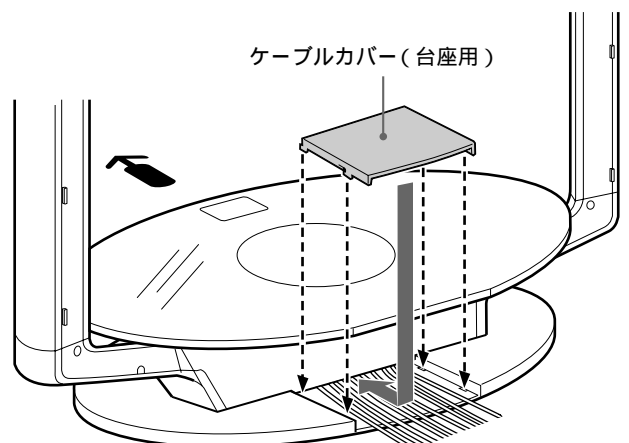
③ テレビのカバー用止め穴に、手順2-1で取りはずした、テレビに付属のカバーの突起部分（4か所）を差し込む。

手順4：テレビスタンドにケーブルカバーを取り付ける

1 ケーブルカバー（支柱用）を取り付ける。

ケーブルカバー（支柱用）のツメを内側から柱にかけ（❶）、外側のツメを柱にゆっくり押し込む（❷）。

2 ケーブルカバー（フレーム用）を取り付ける。

① ケーブルカバー（フレーム用）をテレビスタンド下部に❶→❷の順にはめこむ。

② ケーブルカバー（フレーム用）を5本のバインドネジ（M4）で固定する。

3 ケーブルカバー（台座用）を取り付ける。

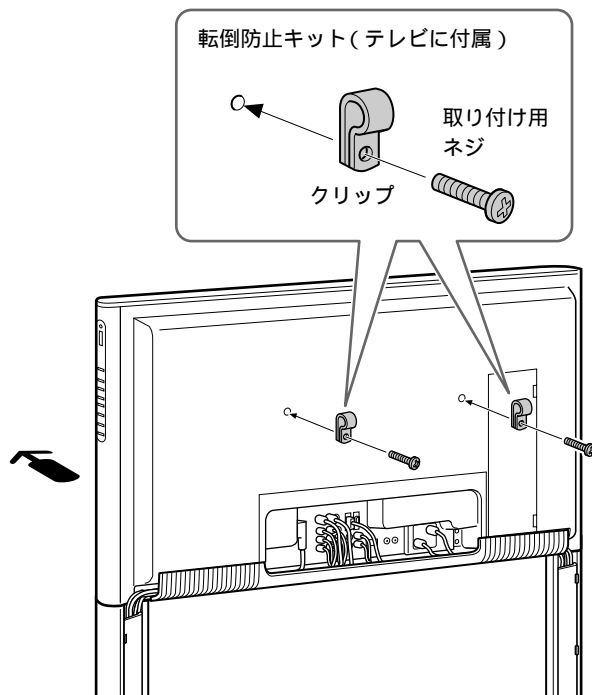
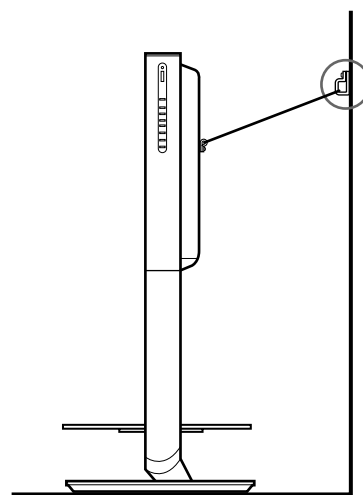
ケーブルカバー（台座用）を上からはめ込んで奥へ押し込む。

手順 5：転倒防止の処置をする

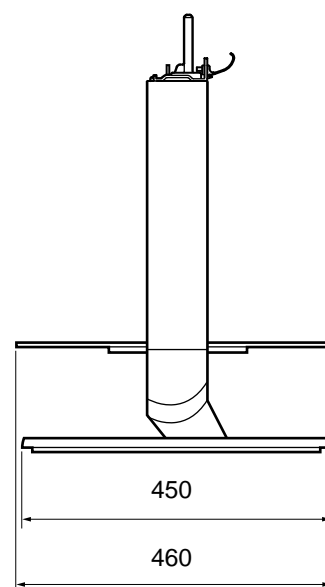
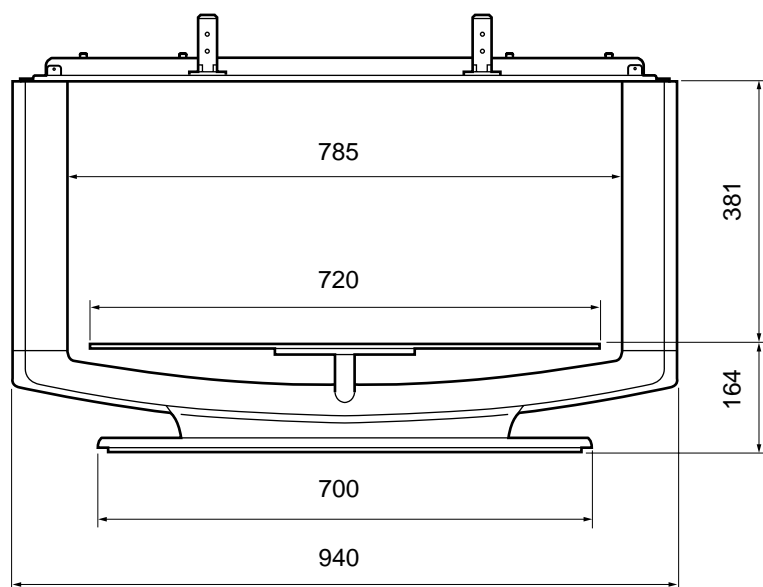
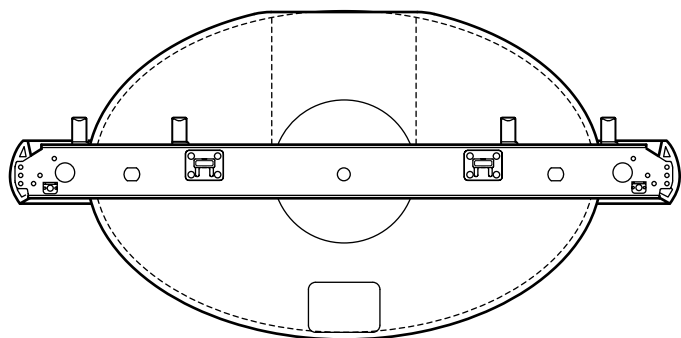
⚠警告

転倒防止の処置をしないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビと壁や柱などをつないで、転倒防止の処置を行ってください。

1 テレビに付属の転倒防止キットを取り付ける。

ちょっと一言

転倒防止キットの取り付けかたについては、液晶デジタルテレビ（KDL-L32RX2）の取扱説明書をご覧ください。

2 取り付けたクリップにひもやクサリなどを通して、壁や柱などにしっかりとつなぐ。

主な仕様

単位：mm
質量：34 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

積載量についてのご注意

ガラスには、右図に示す質量以上のものを載せない
でください。ガラスを破損する恐れがあります。